

令和6年2月20日  
(2024年)

保護者の皆様

吹田市立吹田東小学校  
校長 三宅 友子

学校教育自己診断の集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。さて、昨年に引き続き、今年度も学校教育診断のアンケートを実施することができました。ご協力いただきありがとうございます。ここに「学校教育自己診断」の集計結果をご報告申し上げます。

1. 児童の集計結果について

■1「学校へ行くのが楽しい」1「運動会や音楽会などの学校行事は楽しい」の項目では、すべての学年で85%程度の児童が肯定的な回答をしています。

5月8日に新型コロナウイルスが5類に変更され、日々の活動や学校行事を従来に近い形で行うことができました。運動会や音楽会などの大きな行事を通して、仲間と協力し責任をもって自分の役割を果たすことで、達成感を感じ成長します。学校生活で良い人間関係を築き居心地のいい学級・学校作りに努め、より充実した学校生活を送れるよう全教職員で取り組んでいます。

■2「授業はわかりやすい」の項目では、すべての学年で90%程度の児童が肯定的な回答をしています。3「授業で、自分の考えをもち、伝え合うことがある」の項目では、低学年で90%の児童、中・高学年で80%程度の児童が肯定的な回答をしています。

今年度は吹田市が推進する「能力ベースの授業作り」に取り組み授業改善を行ってきました。教師が教え込む授業ではなく、何をどう学ぶのか、何ができるようになるのかを児童が理解し、意欲的に課題に取り組み授業をいかに作るかを算数の研究授業を通して進めてきました。今後も児童にとってわかりやすい授業を研究してまいります。

■4「学校で、命の大切さや、他人への思いやりを学ぶことがある」の項目では、すべての学年で95%以上の児童が肯定的に回答しています。

「一人ひとりが安心してすごせる吹田東小」をテーマに人権教育として、普段の学級指導、いじめ予防授業や道徳の授業、各学年の支援理解授業、平和学習など様々な教育活動において人権意識を高める授業を行っています。全学年で年間を通して、「みんなすて木」に取り組み、自分や友だちのいいところを見付け、振り返る機会を設けています。

■5「授業などで、将来の夢や大人になったときの職業（仕事）や生き方について考えることがある」の項目では、低・中学年では85%程度の児童、高学年の肯定的回答は75%程度の児童が肯定的な回答をしています。

キャリア教育は、子どもたちが充実した人生を送るために必要な将来目指したい理想や目標を持たせるとともに、社会人として必要な規範を身につけ、より良い社会を創っていくとする意欲や態度を育むことをねらいとしています。総合的な学習の時間や特別活動などを通して、物事に挑戦することの大切さや課題をやり遂げたときの達成感を味わわせ生活の充実を図ってまいります。

■6「地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを教えてもらっている」の項目では、すべての学年で90%程度の児童が肯定的な回答をしています。

「火災避難訓練」「地震や風水害などの避難訓練」「緊急時の一斉下校訓練」など、自分の安全や命を守ることを教えています。是非、ご家庭でもお子さんも交えてご家族の避難場所等を確認していただくとともに、自宅や学校以外で災害が起こった場合についてもお子さんと一緒に話し合ってくださいようお願いします。

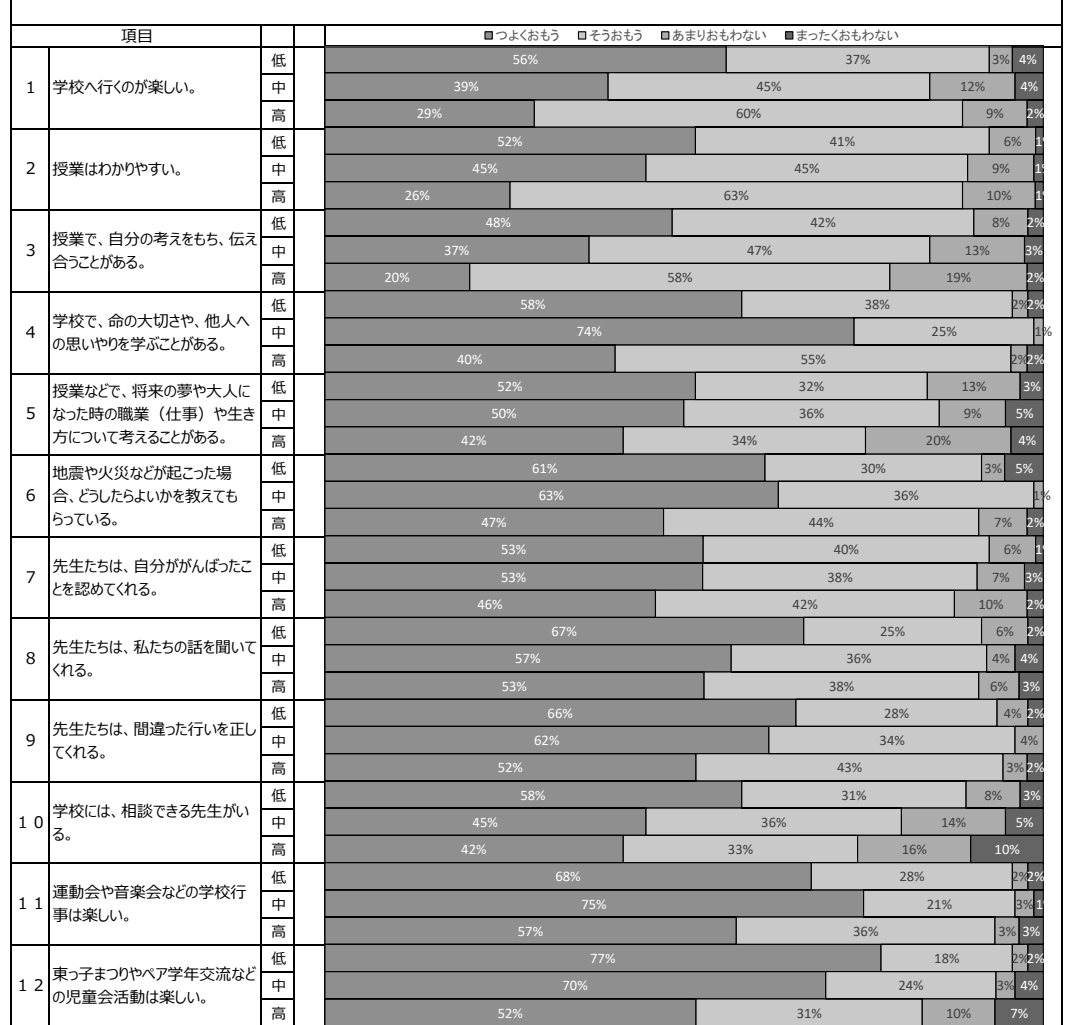
■7「先生たちは、自分ががんばったことを認めてくれる」の項目ではすべての学年で85%以上、8「先生たちは私たちの話を聞いてくれる」9「先生たちは間違っただけを正してくれる」の項目では、すべての学年で90%程度の児童が肯定的な回答をしています。10「学校には相談できる先生がいる」の項目では、肯定的な回答が増えています。

全ての教育活動において、全教職員で子どもたちを見守り育てています。どの学年の子どももたくさんの先生と安心して繋がる信頼関係・環境づくりが肝要です。今後も教職員が子どもの理解に努め、一人ひとりの子どもに寄り添えるような学校体制をとりながら取り組んでまいります。

■12「東っ子まつりや学年交流などの児童会活動は楽しい」の項目では、低・中学年で90%以上、高学年で80%以上の児童が肯定的な回答をしています。

よりよい学校生活を目指し、高学年の児童には、自分たちで企画・運営をしていくようなやりがいのある委員会活動を低学年の児童にとっては、異学年との交流の楽しさを味わえるような活動を工夫して行っていきます。

令和5年度 児童集計結果



## 2. 保護者の集計結果について

「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答が全体的に多く見られました。全 16 項目中、15 項目について 80%以上と概ね肯定的な回答を頂いています。

- 2-6 「通知表は、子どもの学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている」では肯定的な回答の割合が 80%を上回るものの、昨年度を少し下回っています。

通知表は学年の評価基準に基づき学期末にお渡ししています。「あゆみの見方」を保護者の皆さまにお配りするともに、子どもたちには担任からひとりずつ手渡しで頑張ったところを認め、学習意欲が高まるように声かけしています。保護者の皆さまや子どもたちとの連絡簿として、より一層わかりやすい通知表になるよう、工夫してまいります。

- 2-8 「先生たちは子どものことを理解してくれていて、相談に応じてくれる」では、肯定的な回答が昨年度同様 90%近くありました。特に高学年で昨年度より肯定的な回答が14%増加しました。

学校での一日を担当とともに過ごす小学校では教職員との信頼関係は特に重要であると考えています。子どもたちは、友だち関係や学習、家での出来事など、さまざまな思いや悩みを抱えています。ありのままの児童の姿を受け止め、子どもたちとじっくり話し合うこと、保護者や教職員の連携を深めるなど、子どもたちが安心して学校に来られるよう、教職員の子どもの理解の力を高めていきたいと考えています。

- 2-10 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」は、昨年度同様、肯定的な回答が 90%ありました。

子どもたちが、明日も学校へ行きたいと思うことができるよう、日々の授業で「できた」「わかった」と感じることができる授業づくりを進めるとともに、学校行事や児童会活動などで、一人ひとりが自分の良さを発揮し、達成感を持ち、子どもたちが主体となって活動できる場の設定や学びの充実を図ってまいります。

- 2-11 「学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」は、昨年度同様、肯定的な回答が約 75%ありました。

いじめのない学級づくりの取り組みに対して、わからないと回答された方が低・中学年では20%強いらっしゃるという事実に向けする必要があります。毎学期「いじめアンケート」を実施し、いじめ等の実態把握に努め、個別指導やケース会議を開くなど個々の子どもの事案に迅速に対応できるように努めておりますが、この結果を真摯に受け止め、いじめの早期発見や対応を行うように努めてまいります。

- 3-2 「学校ホームページやブログをよく見ている」についての肯定的な回答の平均は約 25%で、昨年度を10%下回っています。

さら連絡網による発信等、デジタル化が進む中、学校HPの閲覧数が減少しています。日々の教育活動の発信等、保護者の皆さまに、迅速に、かつ分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

- 3-4 「子どもの宿題やノート・プリントなどをよく見ている」について肯定的な回答は昨年度と同様の約 80%ありました。

学年があがるほど肯定的な回答が減少しています。日々の宿題やノートは、学校でのお子さんの学習状況が最もわかる物であると思います。宿題やノートをきっかけに、学校生活の様子や学習状況についてお子さんと話していただけたらと思います。

- 3-3 「子どもと友だちのことや学習など、学校での様子について話をしている」と 3-5 「子どもとあいさつや学校の決まりについて話し合いをすることがある」では、どちらも肯定的な回答が約 80%を上回りました。

昨年度同様にご家庭での教育力の高さを感じられる結果となりました。ただ、あいさつについては、PTAの立ち番の方や見守り隊の方が声をかけても言葉が出てこない子どももいるようです。SNSの発達により、対面でのコミュニケーションの機会が減少される中、直に触れ合うことの大切さを実感しております。これからもお子さんと話す時間をできるだけ作っていただき、ふれあいを大切にして、あたたかく見守っていただきたいと思ひます。

自由記述による「学校をよくするためのご提案」には、様々な意見がありました。紙面の都合でご意見の全てを紹介することはできませんが、内容としましては次のようになります。

- ・児童への指導に関すること
- ・学校行事に関すること
- ・学校施設面に関すること
- ・太陽の広場に関すること 等

一つひとつのご意見に対しましては、真摯に受け止めさせていただくとともに、また、そのご意見についてしっかりと考え、本校の教育活動がよりよいものになるよう、教職員一丸となって努力してまいりたいと考えております。

今後も、子どもたちが「安心・安全」な環境の中で、生き生きと学習できるよう、学校全体で子どもたちを見守っていきます。また、PTA 実行委員会や懇談会などの機会を通じ、学校としての考えをお伝えしていきたいと思ひます。

さらに、保護者の皆様からのご意見を頂きながら、地域、家庭、学校が三位一体となって、子どもたちの更なる「学力向上」を目指し、「学びに対する姿勢」や「豊かな心」を育てていきたいと思ひますので、ご協力のほど、よろしくお願ひします。

令和5年度 保護者集計結果		■ 思う □ どちらかといえば思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ わからない ■					
項目							
2-1	低	39%		48%		4%	9%
	中	49%		41%		4%	6%
	高	32%		56%		5%	6%
2-2	低	25%		52%		12%	8%
	中	31%		51%		8%	6%
	高	24%		52%		23%	2%
2-3	低	29%		39%		24%	3%
	中	24%		49%		14%	6%
	高	29%		45%		15%	10%
2-4	低	39%		44%		9%	5%
	中	43%		39%		4%	10%
	高	50%		42%			8%
2-5	低	41%		48%		5%	4%
	中	53%		39%			8%
	高	58%		37%			5%
2-6	低	33%		51%		11%	3%
	中	33%		53%		6%	4%
	高	31%		53%		10%	5%
2-7	低	37%		55%		4%	3%
	中	47%		41%		6%	6%
	高	47%		37%		8%	6%
2-8	低	44%		44%		8%	3%
	中	43%		41%		6%	6%
	高	52%		34%		6%	6%
2-9	低	43%		45%		5%	5%
	中	47%		37%		8%	6%
	高	52%		32%		8%	6%
2-10	低	53%		40%		5%	3%
	中	57%		35%		4%	2%
	高	47%		35%		15%	2%
2-11	低	25%		43%		7%	4%
	中	25%		47%		6%	22%
	高	34%		48%		8%	8%
3-1	低	44%		47%		8%	3%
	中	37%		49%		12%	2%
	高	26%		58%		10%	3%
3-2	低	7%	19%	28%	35%	12%	
	中	10%	20%	37%	27%	6%	
	高	3%	18%	35%	42%	8%	
3-3	低	48%		44%		3%	3%
	中	47%		49%			4%
	高	37%		53%			10%
3-4	低	49%		39%		8%	3%
	中	29%		51%		18%	2%
	高	18%		53%		19%	10%
3-5	低	33%		44%		15%	3%
	中	37%		45%		16%	2%
	高	32%		42%		21%	3%